

Arcserve UDP v6.5 動作要件

(富士通追加要件)

2020年10月30日更新

- 基本的な動作要件は、以下の Arcserve 社サイトを参照ください。

Arcserve Unified Data Protection Version 6.5 動作要件

<https://support.arcserve.com/s/article/212366726?language=ja>

- 富士通が販売する Arcserve UDP v6.5 製品の動作要件は、Arcserve 社が公開している動作要件に、本ドキュメントの内容が追加されます。
- Arcserve UDP v6.5 Premium Plus Edition で、Arcserve High Availability r16.5 の機能を提供しています。
- Arcserve UDP v6.5 Premium Edition／Premium Plus Edition については、下記製品の動作要件もあわせて参照ください。

Arcserve Backup r17.5 for Windows 動作要件

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/partners/partners/arcserve/products/backup/environment/>

Arcserve Replication r16.5 for Windows 動作要件

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/partners/partners/arcserve/products/replication/environment/>

索引

- [適応機種](#)
- [仮想マシンへの導入について](#)
- [クラウドへの対応について](#)
 - ・ [FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 対応](#)
 - ・ [FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-O 対応](#)
 - ・ [FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-V 対応](#)
 - ・ [ニフクラ 対応](#)
 - ・ [FUJITSU Cloud Service AZCLOUD IaaS Type-A 対応](#)

- [FUJITSU Cloud Service AZCLOUD IaaS Type-K 対応](#)
- [FUJITSU Cloud Service AZCLOUD IaaS Type-N 対応](#)
- [Arcserve UDP Windows Agent](#)
- [Arcserve UDP Linux Agent](#)
- [エージェントレス バックアップ](#)
- [FUJITSU Storage ETERNUS CS800 S6/S7 デデュープアプライアンスの対応について](#)

適応機種

- Arcserve 社の動作要件に記載されたハードウェア要件を満たす、以下の機種をサポートします。
 - FUJITSU Server PRIMERGY (PRIMECLUSTER 環境は除く)
 - FUJITSU Server PRIMEQUEST 3000 シリーズ(注) Arcserve UDP v6.5 Premium Edition/Premium Plus Edition のみ対応

- 他社 PC サーバーのサポート条件は、以下をご確認ください。

他社 PC サーバー上への Arcserve 製品の導入について

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/partners/partners/arcserve/services>

- 他社クラウド上のサポート条件は、以下をご確認ください。

他社クラウド上への Arcserve 製品の導入について

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/partners/partners/arcserve/services>

仮想マシンへの導入について

仮想マシン上に製品を導入する場合の留意事項は以下のとおりです。

- VMware ESXi 無償版/無償エディションはサポートしません。
- VMware が提供する機能に関する留意事項は以下のとおりです。
 - VMware vSphere vMotion における切り替え中の動作は保証しません。
 - VMware vSphere High Availability における切り替え中の動作は保証しません。

- VMware vCenter Site Recovery Manager で本製品を使用する場合、保護サイトと復旧サイトのそれぞれに本製品を導入してください。
- Hyper-V が提供する機能に関する留意事項は以下のとおりです。
 - ライブマイグレーションにおける切り替え中の動作は保証しません。
 - クイックマイグレーションにおける切り替え中の動作は保証しません。
 - フェールオーバーにおける切り替え中の動作は保証しません。
- Linux 仮想マシン機能（KVM）が提供する機能に関する留意事項は以下のとおりです。
 - ライブマイグレーションにおける切り替え中の動作は保証しません。

クラウドへの対応について

- 以下のクラウド環境をサポートします。対応する機能等の詳細は、それぞれのリンク先を参照ください。
 - [FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 対応](#)
 - [FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-O 対応](#)
 - [FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-V 対応](#)
 - [ニフクラ 対応](#)
 - [FUJITSU Cloud Service AZCLOUD IaaS Type-A 対応](#)
 - [FUJITSU Cloud Service AZCLOUD IaaS Type-K 対応](#)
 - [FUJITSU Cloud Service AZCLOUD IaaS Type-N 対応](#)
- クラウド上の仮想マシン上で製品を利用する場合、Arcserve UDP v6.5 が物理環境でサポートしている OS とアプリケーションをサポートします。
- 復旧ポイントサーバに集約したオンサイトのバックアップデータを、クラウド上に作成した復旧ポイントサーバへ遠隔転送する場合は、オンサイト側とクラウド側のそれぞれの復旧ポイントサーバ間で通信が行えるよう、プライベート接続できる環境が必要です。
- 他社クラウドのサポートについては、以下を参照ください。

他社クラウド上への Arcserve 製品の導入について

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/partners/partners/arcserve/services>

FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 対応

【FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 仮想マシン】

FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 仮想マシン上での利用を、以下の条件でサポートします。

- 以下のコンポーネントおよび機能の利用をサポートします。
 - ・ Arcserve UDP Windows Agent
 - ・ Arcserve UDP Linux Agent
(注) パスワード認証の環境においてサポート
 - ・ Arcserve UDP コンソール
 - ・ Arcserve UDP 復旧ポイントサーバ
 - ・ 仮想スタンバイ
(注) 本機能を利用する場合、以下の Arcserve 社のサイトで提供されている「Arcserve Unified Data Protection Version 6.5 Update 3 以降」を適用する必要があります。また、クラウド (IaaS) 側に復旧ポイントサーバの機能をインストールした仮想マシン (Windows) が必要です。

Arcserve Unified Data Protection Version 6.5 ダウンロード情報 https://support.arcserve.com/s/article/115001483543?language=ja
--

- 以下の機能は対応していません。
 - ・ ベアメタル リカバリによるシステム復旧
 - ・ テープへのバックアップ
 - ・ エージェントレスバックアップ
 - ・ インスタント VM
 - ・ High Availability

【FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure オブジェクトストレージ】

- FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure オブジェクトストレージを利用する場合、以下の Arcserve 社のサイトで提供されている「Arcserve Unified Data Protection Version 6.5 Update 1 以降」を適用する必要があります。

Arcserve Unified Data Protection Version 6.5 ダウンロード情報 https://support.arcserve.com/s/article/115001483543?language=ja
--

- 以下の機能を利用できます。
 - ・ 復旧ポイントのコピー（バックアップデータ自身をオブジェクトストレージへ二次バックアップ）
 - ・ ファイル コピー／アーカイブ（バックアップデータの中の特定のファイルを二次バックアップ）
（注）本機能はユーザデータのみサポートします。本機能により二次バックアップされたデータからのベアメタル リカバリはできません。
- 以下の機能は対応していません。
 - ・ Linux 環境の直接バックアップ

FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-O 対応

【FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-O 仮想マシン】

FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-O 仮想マシン上での利用を、以下の条件でサポートします。

- 以下のコンポーネントの利用をサポートします。
 - ・ Arcserve UDP Windows Agent
 - ・ Arcserve UDP Linux Agent
（注）パスワード認証の環境においてサポート
 - ・ Arcserve UDP コンソール
 - ・ Arcserve UDP 復旧ポイントサーバ
- 以下の機能は対応していません。
 - ・ ベアメタル リカバリによるシステム復旧
 - ・ テープへのバックアップ
 - ・ エージェントレスバックアップ
 - ・ 仮想スタンバイ
 - ・ インスタント VM
 - ・ High Availability

【FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-O オブジェクトストレージ】

- FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-O オブジェクトストレージを利用する場合、以下の Arcserve 社のサイトで提供されている「Arcserve Unified Data Protection Version 6.5 Update 1 以降」を適用してください。

Arcserve Unified Data Protection Version 6.5 ダウンロード情報 https://support.arcserve.com/s/article/115001483543?language=ja
--

- 以下の機能を利用できます。
 - ・ ファイル コピー（バックアップデータの中から特定のファイルデータを二次バックアップ）
（注）本機能はユーザデータのみ対応します。本機能により二次バックアップされたデータからのベアメタル リカバリはできません。また、対応するリージョンは以下のとおりです。
 - ❖ 東日本リージョン 1
 - ❖ 東日本リージョン 2
 - ❖ 西日本リージョン 1
 - ❖ 西日本リージョン 2
- 以下の機能は対応していません。
 - ・ 復旧ポイントのコピー（バックアップデータそのものをオブジェクトストレージへ二次バックアップ）
 - ・ Linux 環境の直接バックアップ

FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-V 対応

【FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-V 仮想マシン】

FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-V 仮想マシン上での利用を、以下の条件でサポートします。

- 以下のコンポーネントおよび機能の利用をサポートします。
 - ・ Arcserve UDP Windows Agent
 - ・ Arcserve UDP Linux Agent
（注）パスワード認証の環境においてサポート
 - ・ Arcserve UDP コンソール
 - ・ Arcserve UDP 復旧ポイントサーバ
 - ・ ベアメタル リカバリによるシステム復旧
 - ❖ ベアメタル リカバリによるシステム復旧を行う際は、Arcserve UDP で作成した BMR ISO イメージを復旧対象の仮想マシン上でマウントし、起動する必要があります。詳細は以下の二フクラのサイトを参照ください。

ISO イメージ一覧

<https://pfs.nifcloud.com/help/isoimage/list.htm>

ISO イメージ：アップロード

<https://pfs.nifcloud.com/help/isoimage/upload.htm>

ISO イメージ：削除

<https://pfs.nifcloud.com/help/isoimage/del.htm>

ISO イメージ：サーバーに設定・解除

<https://pfs.nifcloud.com/help/isoimage/server.htm>

- ❖ 復旧対象の仮想マシンを ISO イメージから起動させるため、仮想マシンの BIOS 設定にて、"BOOT" 設定の最上段を "CD-ROM" に設定する必要があります。
- ❖ Arcserve UDP は、ISO イメージからの起動後に動作するベアメタル リカバリについてサポートします。

- 以下の機能は対応していません。
 - ・ テープへのバックアップ
 - ・ エージェントレスバックアップ
 - ・ 仮想スタンバイ
 - ・ インスタント VM
 - ・ High Availability

【FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-V オブジェクトストレージ】

- FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-O オブジェクトストレージを利用する場合、以下の Arcserve 社のサイトで提供されている「Arcserve Unified Data Protection Version 6.5 Update 3 以降」を適用してください。

Arcserve Unified Data Protection Version 6.5 ダウンロード情報

<https://support.arcserve.com/s/article/115001483543?language=ja>

- 以下の機能を利用できます。
 - ・ 復旧ポイントのコピー（バックアップデータ自身をオブジェクトストレージへ二次バックアップ）
 - ・ ファイル コピー／アーカイブ（バックアップデータの中の特定のファイルを二次バックアップ）
（注）本機能はユーザデータのみサポートします。本機能により二次バックアップされたデータからのベアメタル リカバリはできません。
- 以下の機能は対応していません。
 - ・ Linux 環境の直接バックアップ

ニフクラ 対応

ご利用条件は、[FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-V 対応](#) の記載に準じます。

FUJITSU Cloud Service AZCLOUD IaaS Type-A 対応

ご利用条件は、[FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure](#) 対応 の記載に準じます。

FUJITSU Cloud Service AZCLOUD IaaS Type-K 対応

ご利用条件は、[FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-O](#) 対応 の記載に準じます。

FUJITSU Cloud Service AZCLOUD IaaS Type-N 対応

ご利用条件は、[FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-V](#) 対応 の記載に準じます。

Arcserve UDP Windows Agent

- Windows Server 2016 環境における制限事項は、Arcserve 社の以下のサイトをご確認ください。

Arcserve Unified Data Protection Version 6.5 注意/制限事項 https://support.arcserve.com/s/article/115000773286?language=ja

- 以下の環境および機能は対応していません。
 - ・ Windows Server 2003 / Windows Server 2003 R2 環境
 - ・ クライアント OS (Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1、Windows 10) 環境
 - ・ USB メモリをベアメタル リカバリ用メディアとする運用
- 以下の機能は、復旧ポイントサーバ (RPS : Recovery Point Server) へのバックアップ運用時のみ提供します。
 - ・ 重複排除機能
 - ・ レプリケート
- 物理マシンから仮想マシンへのベアメタル リカバリ (P2V : Physical to Virtual) 、インスタント VM、および 仮想スタンバイ機能では、仮想マシン上での OS 起動までを提供します。アプリケーションの起動等、その後の OS の動作は保証しません。

Arcserve UDP Linux Agent

- サポートするディストリビューションは、以下のとおりです。
 - ・ Red Hat
 - ・ SUSE Linux Enterprise Server
(SUSE Linux Enterprise Server for SAP Applications を除く)
- 以下の環境および機能は対応していません。
 - ・ クラスタ環境
 - ・ 暗号化されたボリュームのバックアップ
 - ・ RAW デバイス領域のバックアップ
 - ・ 仮想スタンバイ機能
 - ・ リモートディスク（クラウドストレージを含む）へのファイル コピー機能、および、ファイル アーカイブ機能
 - ・ 復旧ポイントのコピー機能
 - ・ Btrfs フォーマットを使用した環境のベアメタル リカバリ
 - ・ Btrfs フォーマットで構成されたマシンによるエージェント バックアップサーバ
- 以下の機能は、復旧ポイントサーバ（RPS : Recovery Point Server）へのバックアップ運用時のみ提供します。
 - ・ 重複排除機能
 - ・ 継続的な増分バックアップ
 - ・ テープへの二次バックアップ
 - ・ レプリケート

エージェントレスバックアップ

- エージェントレス バックアップによる仮想化環境上の Linux 仮想マシンのバックアップデータから、ファイル・フォルダ単位でリストアを行う場合、別途 Arcserve UDP Linux Agent がインストールされたバックアップサーバ（Linux）が必要です。
- VMware 環境上の仮想マシンをエージェントレス バックアップする場合、以下の留意点があります。
 - ・ vSphere 5.x 以前の環境において、VDDK 6.5 を使用したエージェントレス バックアップは未サポートです。
 - ・ その他の制限事項について、以下の Arcserve 社サイトをご確認ください。

Arcserve Unified Data Protection Version 6.5 注意/制限事項

<https://support.arcserve.com/s/article/115000773286?language=ja#a04>

既知の問題>vSphere 6.5 のサポート関連

<https://documentation.arcserve.com/Arcserve->

[UDP/Available/V6.5/JPN/Bookshelf_Files/HTML/Release%20Notes/default.htm#vSphere_6.5_Support_Related_Known_issues.htm](https://documentation.arcserve.com/Arcserve-UDP/Available/V6.5/JPN/Bookshelf_Files/HTML/Release%20Notes/default.htm#vSphere_6.5_Support_Related_Known_issues.htm)

- Hyper-V VDI 環境上の仮想マシンに対するエージェントレス バックアップはサポート対象外です。
- FUJITSU Integrated System PRIMEFLEX HS (VMware) で提供している FUJITSU Software ServerView Infrastructure Manager for PRIMEFLEX のバックアップを、以下の条件でサポートします。
 - ・ 仮想マシンを停止した状態でのエージェントレスバックアップ

FUJITSU Storage ETERNUS CS800 S6/S7 デデュープアプライアンスの対応について

バックアップデータの格納先として、FUJITSU Storage ETERNUS CS800 S6/S7 デデュープアプライアンスの利用を、以下の条件でサポートします。

- Arcserve UDP 復旧ポイントサーバ (RPS : Recovery Point Server) のデータストアとして設定する場合、データのデデュープリケーション (重複排除) 機能は使用しないでください。